

果樹生産情報 (降雹に対する事後技術対策)

7月4日に降雹を受けた地域では、次の事項に留意し、栽培管理に万全を期してください。

1 りんご

- (1) 摘果に当たっては、傷の有無を慎重に確認しながら2mm以上の大きい傷のあるものは摘果するが、それ以下のものは多めに着果させ、サビなどの被害がはっきりした段階で仕上げ摘果を行う。
- (2) 健全果が少ない場合は、樹勢維持のため被害を受けた果実でも残し、できるだけ着果基準を守る。
- (3) 被害園でその後の管理を怠ると病害虫の発生を助長するほか、来年の生産にも影響するので、薬剤散布や徒長枝整理など適切な管理を継続する。

2 ぶどう

- (1) 樹勢調節のため、被害を受けた果房でもできるだけ残し、病虫害防除を徹底する。結実が見込めない場合は摘除する。
- (2) 果房摘除等により樹勢が強くなる場合は、施肥を控えるとともに摘心により枝の充実を図る。

3 その他特産果樹

- (1) 摘果に当たっては、サビや打撲等の被害がはっきりした段階で仕上げ摘果を行う。
- (2) 病害虫の発生を抑えるため、被害の大きい果実は摘果する。
- (3) 健全果が少ない場合は、腐敗等の恐れのない被害の軽い果実を残し、できるだけ着果基準を守る。